

# 来週の「売り物」記事はこれ



2012年8月10日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

大型ルポシリーズ「S（ストーリー）」

今も眠る1万柱

硫黄島「未完の戦後」

朝刊 12日（日）



戦後67年を迎えるなか、戦争の記憶は日々風化しています。しかし、「戦争」はまだ終わっていません。厳冬のシベリアで、泥土と密林の東南アジアで、灼熱の南洋で、実に240万といわれる日本軍将兵が戦病死したというのに、遺骨として日本に帰還したのはわずか半数余といえます。この国の政府は「一柱たりとも残さない」と繰り返してきました



たが、収容作業は遅々として進んでいないのが現状です。東京から南におよそ1250km、日米両軍の間で血みどろの激戦が繰り広げられ、2万人の同胞が死んだ硫黄島でも、多くの遺骨が眠ったままです。近現代史を専門にするベテラン記者が、同島での遺骨収容事業に参加し、この国が戦後軽んじてきたものを問い、「平和」を考えます。

8月は「祈りの月」。平和シリーズ第2弾です。

日曜朝は『S』で始まる——。ご期待ください。

夏企画「夏がくれば思い出す」

箕島高野球部元監督 尾藤公さん（享年68）

夕刊特集ワイド面 13日（月）

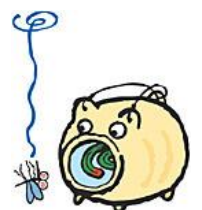


2012年夏、復興の道半ばで心に染みる言葉がある。そんな言葉を発した故人をたどり、今に通じるものを探る企画「夏がくれば思い出す」。夏の高校野球史上に残る延長18回を戦った対星稜戦。差配した尾藤監督＝写真＝の「野球は人間が一番大事なんや」という言葉を多くの人が思い出すという。火曜日以降は、「ざわわ」の作曲家、寺島尚彦、映画監督、黒木和雄、「夏の闇」が代表作の開高健、作家、立松和平と続く。

蚊取りグッズ事情

くらしナビA面 13日（月）

猛暑の中、節電のために窓をあけて寝ている方も多いでしょう。悩ましいのが蚊。昔ながらの線香から、マットタイプ、ワンプッシュ型とさまざまな蚊取り商品が市販され、選ぶのに迷ってしまうほど。最近バラやイチゴなどの香りつきグッズもあります。蚊の生態や、蚊を退治する仕組みを解説し、真夏の夜の対策をアドバイスします。



## 食ウオーク～トマト丼

くらしナビB面 14日(火)



全国のご当地グルメを訪ねる「食ウオーク」。今回は、岐阜・下呂温泉の「トマト丼」です。特産のトマトを使い、飛騨のブランド肉とともにご飯にのせた一品。濃厚な肉汁にトマトの酸味がマッチし、さっぱりといただけます。加熱したトマトと生のトマトを2層にして出す店もあり、観光客の人気を集めています。

## 男のおしゃれ変身編

くらしナビB面 16日(木)

アパレルのプロたちが、地味なおじさんをおしゃれに変身させる人気コーナー。今回は早くも、秋を意識したコーディネートです。普段は作業着姿という50代の読者モデルに、グレーのブルゾンなどでスポーツテイストを取り入れました。髪もふんわり立ち上げ、自慢のヒゲが引き立つ若々しいスタイルに。仕上がりは、紙面でお楽しみください。



### 運動面連載「インサイド」

## この五輪で何が起きたのか 2012 ロンドンを総括

14日から



感動の熱戦が繰り広げられた2012年ロンドン五輪は12日夜(日本時間13日未明)、閉会式が行われ、17日間の日程に幕が引かれます。今回の日本選手団は、日本の五輪史上初の優勝なしに終わった柔道男子の不振などで、思ったように金メダル数は伸びませんでした。しかし、28年ぶりの体操男子個人総合のタイトルを奪還した内村航平、若手とベテランがともに健闘した競泳陣など、心を打つ活躍も多く、メダル総数は30個を超えています。また、バドミントン女子ダブルスで起きた無気力試合による選手たちの失格、判定に不安を残した審判の続出など、これまでにない問題もみられました。14日スタート予定の運動面連載「インサイド」では、ロンドン五輪をさまざまな角度から5回にわたり総括します。